



令和4年度

# 多北高 FRH 通信 第09号

令和4年8月23日(火)  
多北高 FRH 推進委員会  
探究推進部

## 全日本高校教育模擬国連 (AJEMUN) その2

2022AJEMUN の報告その2です。

<大会の様子 その2>



スピーチをする Egypt 大使



WP 提出に向けて

### 国連環境総会(UNEA) Working Paper

#### 第6回

Agenda item: **森林保護 (Forest Protection)**

Sponsor: Argentina, Belarus, Bolivia, Cameroon, Cambodia, Chile, Fiji, France, Gabon, Ghana, Honduras, India, Indonesia, Kenya, 1 Guinea, Peru, Philippines, Solomon Islands, South Africa, Vietnam

国連環境総会は、

近年の森林の急速な減少が、人間の活動だけでなく、地球温暖化問題を加速させ、母なる地球に不利益をもたらすことを認識し、

WP の一部 (Peru が中心国の一つとなりました)



WP を説明しているところ



WP に関する質疑



アンモデ残り 37 分



DR 提出直前のようす



提出された DR の内容を確認



最後の議決のようす



参加者全員の記念撮影(B議場)

#### <大会を終えて・参加者の感想>

★私たちにとって初めての全国規模の大会ということで、より準備や下調べに時間をかけて取り組みました。当日は準備を念入りにしたことにより、早い話の変化にも順応し、WPで下線を引くことができました。しかし、参加者全員がこの大会に強い確固たる意見を持って臨み、リーダーシップを発揮しようと立ち回り、圧倒され、自分に足りないものを見つけることができました。このような質の高い模擬国連に参加することはなかなか出来るものではありません。ここで学ぶことができた力は後々にも生かせるに違いありません。自分に足りない所を強め、成長していきたいです。

★1月の東海大会で初めて模擬国連に参加しその魅力を知った自分にとって、全国レベルの模擬国連に触れることができたのは、本当に貴重な経験となりました。強豪校大使の入念な準備に基づく会議行動は、本当に計画的かつ隙がなく驚かされるばかりでした。私は模擬国連で培われる交渉力や世界情勢を俯瞰的に分析する視点は、模擬国連だけでなくあらゆる場面で役立つものだと考えています。AJEMUNには初心者議場も用意されているので、来年以降も初心者、経験者を問わず、たくさんの北高生にこの経験をしてほしいです。

★東海地区の模擬国連と比べて、とても意見が沢山出て、一人一人がしっかりと自分の国の意志を持って臨んでいると思いました。もちろん、初心者がいなかったからというのもあると思いますが、BGに載っていないことまで調べていた人や、そのマニアックなことを、他の国のことなのに知っている人とかもいて、何回も理解が追いつかなくなりました。ただ、そんな空気だったからか、今までよりも自分の意見が言えたり、議場の進み方についても意見が言えたりしたので良かったです。あと、今まででいちばん楽しかった模擬国連でした。この経験を、次の東海地区大会で活かせたらいいなと思いました。